大阪公立大学 Osaka Metropolitan University 学術情報リポジトリ

フィールドノート（1958年6月11日-8月15日）：ブータン

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中尾, 佐助 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/13377

○ 別送船便（テント、寝袋、マットレス各4）の
の証明書、　川西宛　羽田より直送。

○ フィルムの持出証を　羽田税関にて
調整、　輸出手続きのこと

カルカッタ総領事
竹内

6月11日（水）7.15 AM. Hong Kong 到着. Tse は Air Port に見えず.
Peninsula Hotel 部会.

羽田 Air India 23.45. 定刻. 本部, 組, 全坂, 桜田, 八塩
Unaccompanied Baggage (Sports equipments) として
134.0 Kg. 50% Disc. per $1.83. Total $122.61.
慶應隊, 川喜田, 山方, 大森栄(カメラ) 3名.
Naka seat No. A.5. (Super Constellation)

Dum Dum 定刻着. 公使館員.

William A. Tham
Trade Agent, The Government of Bhutan
27, Weston Street, Calcutta-12
Phone: 23-2537. (Gram: Billkeen)

公使館. 河上氏. (梅さんより本をとどけた人)

Spences Hotel Room No. 161.

茨木正雄氏と同室
在カルカッタ日本総領事館. 副理事官

6月12日 木

10時 Tham が Spences Hotel に来る。上衣を持たず
ネクタイを着けて出るが、間もなくはずす。Custom House

夜

6月13日

夜 領事館にて会合 在カ邦人 主として銀行
岩井産業の人達。Flash で Wide をつけて
撮影

~~Emb~~ Consulate

6月13日金

午前中 — 領事館
午後、 Custom House.

正午、東銀にて
£300.— 換金

6月13日

8.00 am Bot Garden

Dr. Chaterjee に面会

9.30 . Spences Hotel return

Than 到着 – Custom House

12時出発： [illegible]

pp. 8, 40 m ⟶ 2. am
Lumpy. Than, (   )

6月15日.

東銀 カルカッタ支店 [redacted]
〃 [redacted])

川喜多氏より
断りの電話
(Cunning行き
同行を断り

9.30 am. Cunning 行き.

Boy 1 % M.D. Salim 20 years ago.

一等車.

Cunning 発 (11.23着)

12.12
14.0.
15.25 K.C. Dey
16.55. M.&M.E., MISE
18.26 274, Rash Behari Avenue
20.20 Calcutta -19.
phone 46-3109

Deyの大かんげいで困る. 彼の
Villaで1時間ほど休む. 駅より15分

Sonar~~x~~pur

12 miles from Cal. E. station

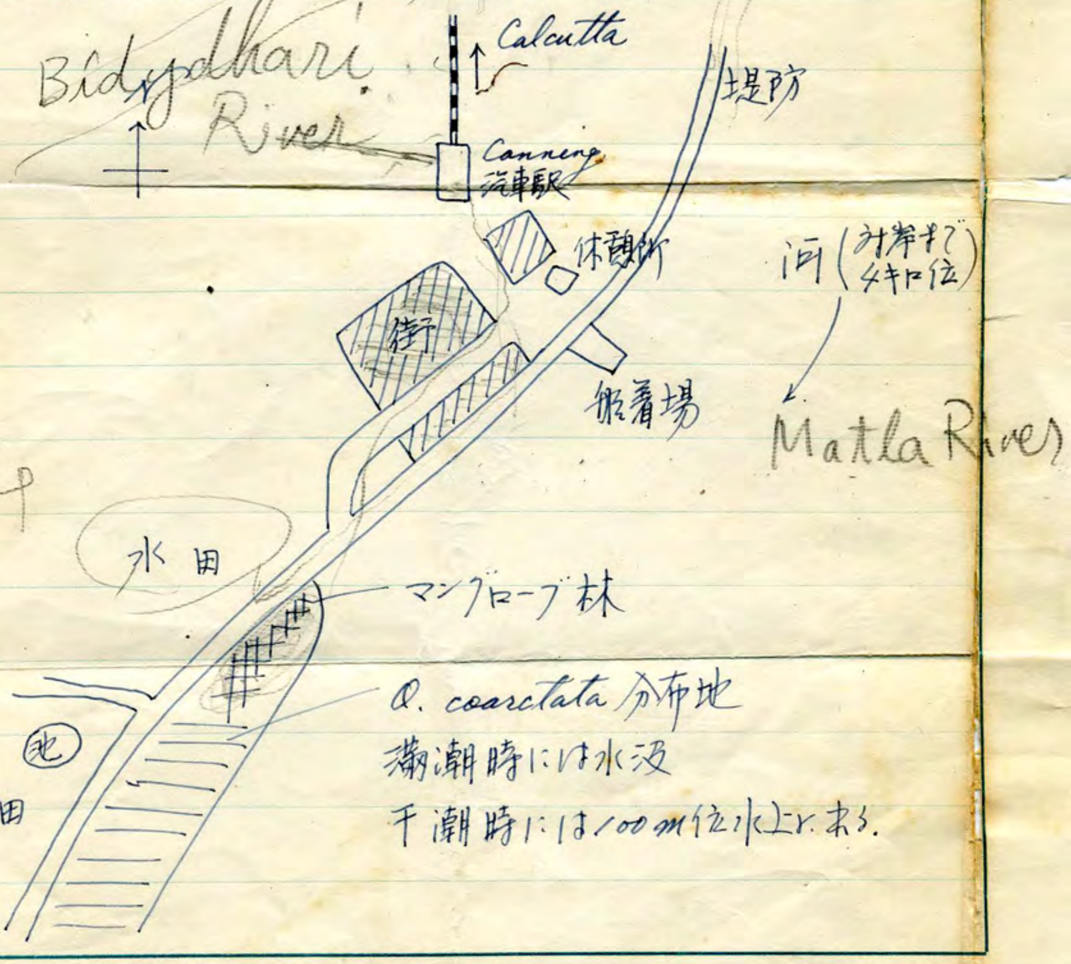
ここで鉄路故障のため、3時半頃より待つ。
5時半になっても、形勢は全く分らない。
6時2分前、やっとSonarpurより列車が
動きます

夜、Spencesに大井(領事館)書記生
が来る。フィルムが売れないと返していく。

Oryza coarctata の採集地

Calcutta の Sealdah Station (市の東側) から
Canning 行の汽車に乗る。 終点 Canning まで
約2時間半, 1日数往復

Canning は Hooghli 河口に近い。そこから堤防の
上を南西1キロ以内の地点に豊富に生育している。
ゴム製ズボンを用意した方がよい。



Cunning は カルカッタの
バザールへの 魚の供給地
として最も大きい所として知られている。

6月16日

Spences Hotel 06.30 出発
途上、Lumpy の宿舎へよる
Dum Dum Air port. 0800 定時発
空はよごれているが 飛行機は案外静かなり
Bagdogra の滑走路は アスファルトに改良されていた。
Bhutan House からは、昨日約束で 向えの
車が来たが、今日はない。Station Wagon型
のバスで、11時頃発、1時半着
Bhutan House 到着、J. P. Dorji,
Tashi Dorji の出むかえを受ける。
Rani Sahib "So at last you
come here" と云った。
ランチ、象牙のハシが出た、やや支那風
の食事。

Tea ののち Miss Dorji の案内で
Jigmie Dorgi の Private House に行く
ここは Major Scheriff が住み、Rockeri を
作っていたが、Prince Peter が入って、
これをこわし、芝生にしてしまった。
今は Jigmie のもので、庭を回服中。
ここで 茅台酒を飲んだ。

6月17日

朝、ムベツトへのミユールの鈴の音、8mmなど努力効少なし、午前中東の方へ散歩
ヤシカ8mmの調子悪し、三脚の脚1本を折る

午后 ひるね
夕刻、散歩、Hair oil 購入、（ミードル夫人にその店で会ふ）

Dinner にうつかりHunzaの悪口を云つてしまつた。こんなことを言わなかつた方がよいかもしれぬ。

6月18日

9.30 am. 朝食後 Bazzar 見学. 13.30
Bhutan House に帰着.

昼食. Rani Sahib, Tess La, Tashi La,
他婦人1, 弟1.

食後 Rani Sahib が着物を着てみる.

4時. Tashi La と共に Mrs Morgan
の Garden を見にゆく Bamboo orchid
がみごと. Lilium 類あり.

6月19日.

Kalimpong — Darjeeling

Lawang T. Pulger, Tashi Khang (346), Gandhi Rd Darjeeling

Lumpy. Ugen. One boy.

Tess La. 同行 して Kalimpong より出発 —— クヌギ林あり.

Tenzing House 3. pm.
Pansy. 他 2 Sherpa

Tess La 夫人は Tenzing より ケン をもらった。

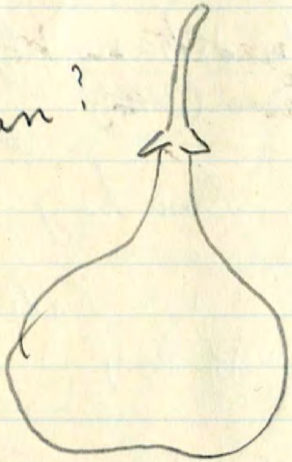
Foot ball game (植物園より下の方)

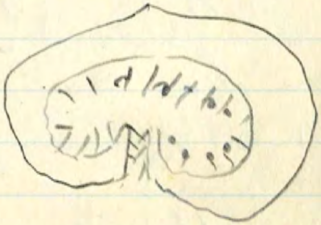
Tess La 夫人の 末子の 少年.

7. 30 pm Darjeeling 発. — 10. pm
Kalimpong 着. "Very good driver!"

6月20日

18日に Bazar で買った果物を切り





午前、 Jigme Dorji、Tham と
Drive。 Nepali の旅音楽を
録音

午後 3－6 pm Bhutan House の
後山の頂上まで。比高 500m。
クヌギ多し。植物採集

夜の reception (Bhutan House)
China trade agent in Kalimpong
(3人招). Tsarong 氏. General
夫妻

¥28.—

$$
\begin{array}{r}
28 \\
12 \\
\hline
56 \\
28 \\
\hline
336
\end{array}
$$

テーマ

Tsarong と China trade Agent

19

6 ⁄ 21

Charity dance

Rani Sahib;

You must be ready at ~~five~~ six thirty with "properly" dressed.

6 10 22 12

Lepcha Record

11 am — 14 pm

6月23日

午前中。

Yashica-8 の修理。

Film の loading 法に

欠点が 気がついた

これまでに 3本 無駄に

なったが、もう大丈夫

10 — 2.

J. P. Jigmie House

Tess La と昼食。

6月24日

午前中 walking

午後
Rani Sahib
Tess La
Tashi La と一緒

5－7時 walking
Jigmie House.

26日夜会をTess Laより
招待さる

6月26日

早朝 大雨.
前通り.

6. pm. Rani Sahib より
2ヶ所 Landslide
明朝出発不能
日曜出発

6. 30 pm. Jigme Dorji
の所へ 会食へ.
Bhutan Maharaja の弟
16才

6月27日(金)

9am — 1.30 pm Walking
東山の西をまわり、頂上に出てかえる。ネパール沙漠の中
Mamiya-6 の蓋をおとす。

5 pm - 6.30 pm. さいごの買物
Mustard, Toilet paper, 図書,
Marconitch cigarett, マッチ

6月28日(土).

1日部屋にとぢこもり

5.30pm - Tsarongの所へ出発

11.30pm 帰館

—— 荷造りをすます

12.30am 頃ベッドに入る

Miss Tashi Dorjiのおくりもの

㊥貴州産茅台酒 1瓶

6月29日(日)

4.30 am. Bhutan House 出発
3.00 just に Tea が来る、
Jigmie. Lumpy. etc. は Jeep.
荷物は先に出発.
Tess La, Ugen, 中尾は Benz に乗車.
Tiesta 川に出た頃明るくなり、
間もなく雨.
—— Tea garden の間を走る.
途はよい

Mal Bazar に 6.30 am 到着
(Junction)

汽車の予定時は 8時?
朝食. 卵子 4個 パン.

印度の汽車は待つだけが秘訣.

11時直前に汽車が来る

Torsa 川を渡る. Hasimara を
過ぎる. この辺は洪水.
レールの上に水が流れている.

BAKSADVAR

G1

3時頃 Rajabhat Khawa 下車.
Sahibの従 12人?
荷物トラック 二台

小型車で Sahibは森林を出きり
最後の開こん地)、——氷の入った
オレンヂダース.

Sahibは乗馬、中尾はmule
たいへんよい、

登りは渓流ぞい. 約50分

6.20 pm. BAKSADVARの
Forest officeのバンガロー——
Alt. 650 m.
Assamの森林が眼下に
見える.

スバラシイ場所

印度平野から見たブータンの山.
松本平からの日本アルプス

6月30日. C 2

ポーターは朝早く出発してしまった。

朝食 Dasの家.
Bhutanの無線網 (8-11 station?)
の主任?

昨日のmuleにて出発

Bhutan India Border
9時55分

Alt. 1650 m.

Warm temperate mixed forest.

ここでmuleが先に行ってしまった

雨、雨、雨.

ようやく耕地が斜面に出てきた

昼食は大きなテントが準備してあった。

~~Tata~~ Tala Alt, 1750 m

リフダに近いところを行く。

mule に乗つたから楽だ。

宿泊地 Tala。立派なバンガロー。
（新らしい）

10数名の小学生整列。カンゲイの

アーチ。到れりつくせりの準備だ。

mule の駄馬は殆んど馬と一緒に

到着したが、クリー隊はなかなか

来ない。

（テンジンの犬の名 ラムナー。

American trail hound 2匹

鉄釘を使わずに立てた
バンガロー
ここで9時までブリッジする人々

7月1日 C3（下痢2回）
腹痛のため、夜中良く寝られなかった。

Moss Forestの中の
ぬかるみを西へ行く
Lumpyが歩けと云ふが
できるだけ馬上にいる

Quercus lamellosaがまず
あらわれた。

Dichroaの花が非常に目立つ
Galeolaの花も多い，壮大
なり
（黄花）

今日1日當番弘人

Chumai Rigao on top of the hill

C_3 宿泊地 1900m

昼食、ぐんなりして殆んど食べられず。
ここのテントの敷板は
Cyclobalanopsis のようだが
はっきり判らない。

午后の道は日当りのより
斜面で、比較的良かった。

—

バンガローは新築なり。
直にベッドに入る。

夜 Jhon Haig のごちそうになる
ひとりだけ。

ぜいたく。

Onkar. Jigmeの友人
マルワリ
Kalimpong 在住.
裸身より、自分も40台.
Air India Agent.

7月2日.

出発. 7.30 am.
Wang chu で Fishing のため. 各自早々出発. 朝 Fishing gear を取り出す. Oreomycin, Panvitan, を出し. Oreomycin を飲み. ようやく元気づく.

道は 山腹を まき下りぎみ

林相は 決定的に Evergreen Mixed Forest

Cyclobalanopsis glauca その他のカシあり

Lonicera (日本のスヒカズラより花筒長し) あり

Augustine Forest officer of Bhutan

C4 宿泊地 2130m.

Tsima Shum below

12.30 pm. Chhunkha Dzong の橋.

Alt. 1500 m? Fishing

1尺ばかりの鱒 2.

登り はじめて forest 一安もり.

Oak Forest,

ナラ, Q. sp. (Q. semicarpifolia の葉を大きくしたような樹皮)

非常に見事な Oak Forest なり

ただし着生蘭は多からし,

Coelogyne, Dendrobium 多し.

1800 m 位より ネジキ が散生した斜面. Fire による为),

pale Pink Rhododendron を見る

Primula の株(花なし)もあり.

Jigmie より Paro に合流せよとの話.

7月3日

出発9時頃。キリ雨が降ってなかなか止まない。Nyron stocking を試験的につけてみる。すぐ深い湿った森林へ、馬ででかける。

トサミズキ そっくりのものが結果をつけている。とうとうかんにんぶくろの緒が切れて採集をはじめる。たちまち袋1杯になる。

約半分行程よりシャクナゲ現れはじめ、同時にカシ(裏福)と伴ふらしい。R. arboreum (咲きのこり後花)。R. barbatum に似た幹で花後が

C5

Alt, 2500m Kapcha Dzong

tassel に少ない種類、少しも花は
残らないが、きっと美しい花だろう。
半灌木性の白花種も現る、やや減花
多し、花型はベユリ型、ササユリの香。
R. sinoglande? ただし葉は大きくなり、
昼食のテントから馬がむかえに
来た。
午后はカシ林の乾燥地に入る、
驚くべき変化、ヒマラヤゴヨウも同様に
たくさん出現、川を渡る。Wangchu で
はなかった、Hachu の上流に行く、Chunka Dzong で
始めて Bhutan らしい Dzon と村を

見る。

畑の採集、小麦、ソバ 2種
収穫中
大麦収穫終了、残穂の中に
Hood を忽ち 発見，
Bhutan 宗原の中に入り，
脱穀ずみの 裸麦の 種子を
もらふ。

山蛭 は少なくなった。
鉄の指の肉を 吸はれたのには
驚いた。

Dzon では やはり アーチの
かんげいの

9 p.m. Dzon のベランダで short wave
の radio を聞いていたら，前の塔から
読経ノ声。日本よりやや音楽的な
感じ。

このDzon の近くに岩クツの
加工して家になつた 祈りの場所を
Jigmie に示さる

このDzon にも Wireless があり，
印度の音楽が聞えている。

2500 2900 2230 1950

Kyapcha Dzon → Darbir Dzo

7月4日 C_6 Wang chu bed.

今日は分離の日。朝荷物に念をおす、Ugenに話し、Jigmieにも通じて馬を辞退す。従者は黒牛のような男とナンギャルとは心細かったが、意外にもコックを附けており、印度人。Bhutan houseのコックで、英語をかなり話す。

Dzon出発、峠に登る。2900mくらい。Notholilion花盛り。しばらくシャクナゲ、Corylus、Quercus semicarpifolia (Aconがたくさんついている) の林を過ぎると、道はだらだら下り Q. suber (便宜上) の多い

始めてのキャンプ,
全く快的。

乾いた疎林。道は乾き,砂ぼこりの立つところもある。今迄の場所と較べて,全くびっくり,Wongchu 河原 (1950m). のランチ,ここで Jigmie の一行と別れのあいさつ。

橋を渡り,Darbir Dzon に登る約300mほど。Dzon の建物は典型的な形。そこの手前の寺らしいところの庭ぞいにキャンプ地ができていた。1時少し過ぎ。

2-3時。休み。

Dzonの人にサービスにラジオをかける。

Darbin Dzong → 峠 → Pushakha
2230 2600 2400m
6.00 7.30.

7月5日 Cn 昼食 人夫交代

乾燥山腹の Vegetation

Rosa sericea.

Cotoneaster microphilla

Lonicera rupicola.

Artemisia sp. Q. semicarpi

現る

Berberis sp. ブッシュ状

grass and sedge,

Pinus excelsa.

not Juniperus

Pushakha 村 ゴンパ

昼食. 院あと

10.00am 到着

→ Tamaching Dzon ——→ Bhara 2.30 pm
2000m 2150m
Paro Chew 西 Paro Chew の近く,
水田あり ——→ Shapa Para

Paro Dzong の Assistant governor が
出むかえ。テントを立てていた。
夕食. Pork.

~~Coo~~
コックがラジオを開き 興奮して
Kashmir と Naga の
all India の 報告
Radio Pakistan Dacca の
ゲキエツな声.
コックは ダージリン生れの
印度人だ

Bhara ⟶ Paro Dzong
2125m 水田地帯 2210m
6.30 am 9.30 am

7月6日(日) C8 Dr. Pemmba

全く乾燥した Paro chu bed を馬で
行進、水田が続き、大きな
Bhutan 式の家屋が散在。
松林がまわりのゆるやかな岡を
まばらに おおう
ヤツガシラが多い
水田は二毛作
冬麦、6月初旬収穫。
1ヶ月内 dry manure
ploughing.
水を張り、田植、6月終り
田植えしから1週間ほど
たったところだ。

天気は良くなり、日が当り、暑い。

Paru chu の水の濁り方は氷河だ

Paro Dzong. C8.

Paro Dzon の建物は素晴らしく。
立派だ。Guset House の奥の1室 昼寝.
Bow race を見る。

3 pm. Dr. Pemmba の案内で、
Governer とラマ来る。3時間
会談。

Chomo Lhari 行きの話
人夫4、食料10日分
コックも歩くことになった。

7月7日

休診.

午前中 10.一1時 採集.

Dr Pembha と一緒

帰りに 松の木の下で Arah

を飲む 昼寝 30分

夕立.

Hospital に立寄り Tea

Roh Tonmi 印度人コックの名

Belligiamong @ Barwa

→ 呆1オーダリー

準備ができたか、できぬか

一向判らない

ナムゲリを標本用紙交換り

のこす。Dr. Pemba に

くれぐれも look after を

たのむ。

Chomo Lhari 行

7月8日 C8 ⟶ C9.

6時半出発の計画。
7時頃 Dr. Pemba がきた
7時半に出発できたとは驚いた
荷物は box 1、Tent、新聞紙 1、
料理用その他 1、食料（先に行った）

水田の内を行く
サクラソウが少しある
黄花、良い匂、形、P. cockburniana 等
が出て嬉しい。

2210 m　　　　　　　2580 m
Paro Dzong → Sankepong

バロメーターが
こわれた。

水田はDukye Dzongより少し
上部まである。2500mくらいか。
Q. semicarpifolia が多く
なった。Picea. Tsuga等
混在。

ラジオに雑音があっても苦に
ならない。日本で雑音に
慣れている為か。

Sankepong

C_9 ——→ 本流と別れる

2580 | 2880.

7月9日 C_9 —— C_{10}.

夜明け、雨がテントをたたいている。6

6時20分出発.

8時20分. Alt. 2880m.

~~平を~~

かなりの支流をわたったところ

で昼休. ここから上へ入る;

12.10. 稜線.

シャクナゲ林

Gentiana sino-ornata

→稜線 ——→ 峠 ——Tongu→ C10

~~3000~~ 3500 m. 3900 m 3700 m

~~この辺、高度に +200 m~~
~~+100 m~~
~~必要？ 29/II 1964~~

2.50、キャンプ地
3700 m
ヤクミルクが非常にうまい
C10 スバラシイキャンプ—

ポーターが5時に引き
Rs. 12、— 支払

C, 10 Tongu 3700m (1,00) — 峠 3950m — 川岡 3450m —

7月10日

Primula camp. = Tongu,
P. sikkimensis
P. involuculata

霧の中のAlpineを見る
登って4000m

下に下りとヤクのカルカ

シャクナゲ林、針葉樹林

川に出て下る 一本流
少し渡る　ここより1時間
来る

キャンプ

C11
3500m
(1320)

Chomo Lhari Gompa

7 P / / R C_{11} —— C_{12}

3500m 3900m

7月12日 C_{12}, 3900m

ChomoLhari へ。

約1500m登る。

5300mくらいか

Giant Rhuburbが

5000mくらい

まであり。

3900 4800m 3200m

7月13日 C_{12} ⟶ C_{13}

Chomo Lhari Gompa Che Kha

6時30分出発. 快晴. C_{11} の上方約

300mの草つきをまわる.

この尾根を廻りきったところに

Kesenam chen の河床は

典型的な氷河地形, lateral

moraine と河床の間約100m

もある. Terminal moraine は

ここより約400m位下 3700m

くらいか.

更に河河地形(ゆるやかな

カール級)を登り約 ~~5000~~ 4800m

の峠. (うこ41). 続いて同高度の

Takhsanga monastary 明晩

Che Kha → Takhsanga Lham Che
15 mile

峠。（この間に 3つ以上の湖が
見られた）

峠から広い谷に入り

峠を下る Tremo La に通ずる

道に出る。結局 Chomo Lhari と

Toremo La をつなぐ口坊尾根の

すぐ内側の高所を通ったことになる。

峠の間 Messenger 来り、"馬をかえせ"

Tremo La を通ずる交易の量は

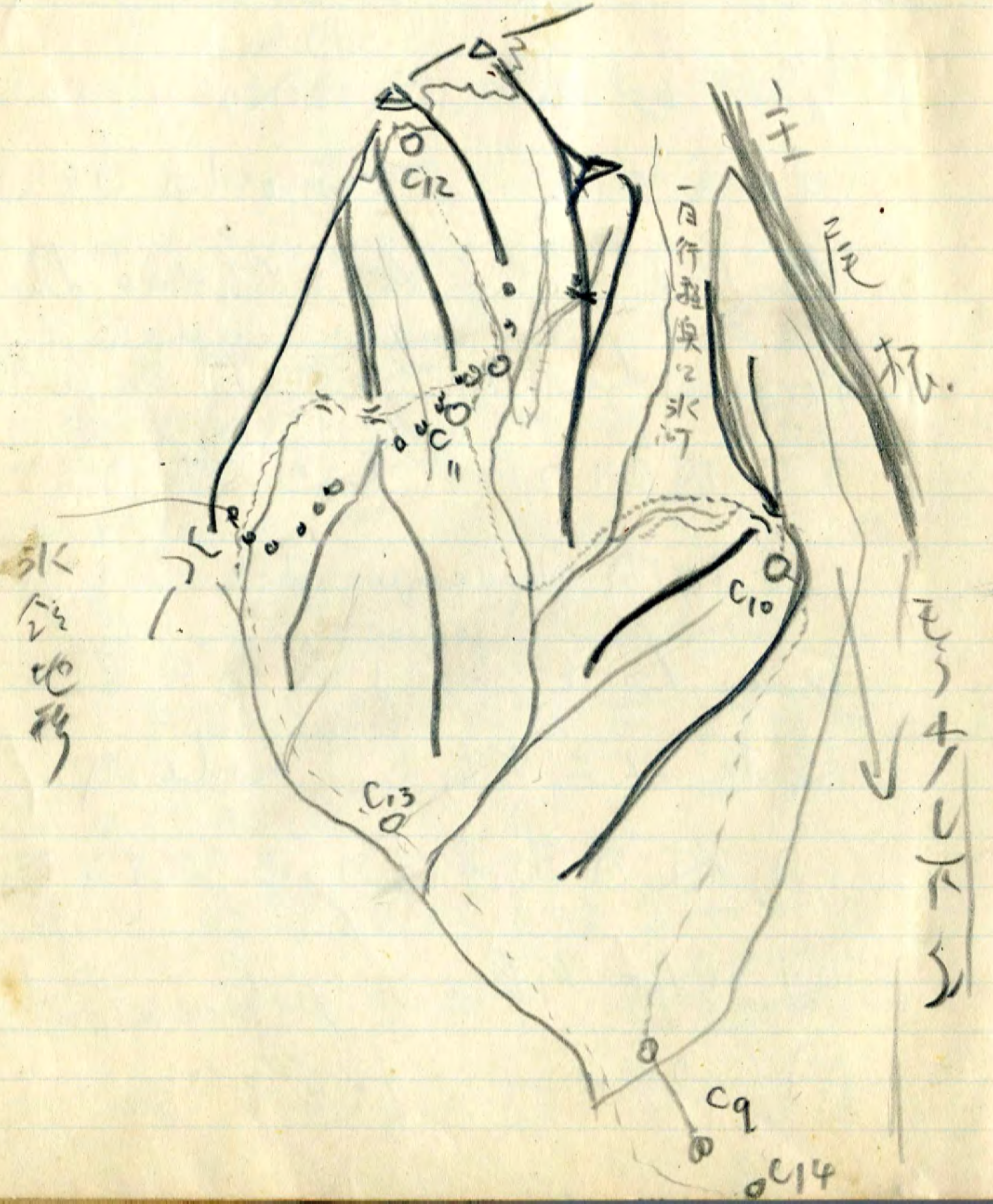
莫大 以上ならん。mule が

1日 ~~数~~ 百頭以上で通交するらしく

泊り。Che Kha. police station

門に 2本のモミが立ってあった

Chomo Lhari 東面概念図



3200m C_{13} 2300m C_{14}

7月14日 Chekha → ~~Thaksanga~~

7月15日

C14 C15

7月15日 Takhsanga → Paro Dz

Dugal Zongpon S. Dorji.
Bhutan,
15.7.58,

Her Royal Mother's Name is,
Ayee Choden.

↓

通化葡萄酒をいただく

中国牌(上海製)タバコ.

ong

7月16[7]日 Paro Dzong. (C15)

休み

9月18日

Jigme Dorji

34才

Rorenz
Bhutan house
clerk

7 B / 9 P. (C 15)

Jigmie Dorji & Tess La

to Taktanga.

7月20日 C15, Paro Dzong.

午前、Paro Dzong 見学.

Dr. Khabo.

Archery.

Cine.

[illegible]

7月21日 C15. Paro Dzong

滞在

朝食 Onkar 帰る. 手紙を託す

11時.

米来より採集の整理

他は Archery の声が

聞える.

C_{15} —— 峠 ——→ C_{16}
2210m 3700m 2700
Paro Chiley La Ha

7月22日 Paro ——→ Ha Dzong
16

意山へ移営

C16.

7月23日. Ha Dzong 滞在

→

ラジに聞き入る

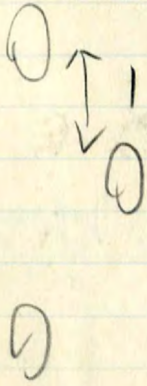
NHK.は支那語ばかり

7月24日 Ha Dzong. 滞在

Pohntu, Haの住人,
8年前. 2月. Sele La, 4 miles south
from the pass. 7-8 friends,
footsteps on the snow, 30 cm

指の形は判らなかった.

足跡が入り乱れていた。



1 yard. 熊の足跡は小さい.

人間の 1.5倍 ~~人間~~ 高さ

yellowish hair

立って歩く.

Migu and Mito.

Migu: Man, wild — taller. (より温かい所に住む。

Mito: Man, monkey — shorter. about human stature.

Miguに出会ふのは悪運のしるし.

午前中

Dr. Penbaと散歩

Ha shop (cooperative)

小学校を見る.

C16 → C17

2700m　2500m

7月25日 ~~Paro~~ 4a → C17 Dorsho

Pemba と一緒.

9時半 出発.

雨がザアザア降る

Pemba と別れてから 20分

大きな家に入り 昼食.

Parochu の水は褐色ににごる.

午后 2時間半ばかり 雨.

Picea と松の混林.

Camp.

ナムゲが居ないことに出発後に気づいた。

夕刻、collection を press
しはじめ。Hgに浸んだ paperが
ないヿが判。送り返しの
手筆をとる

 Dorsho → Sele La → Ehte Chugu

2500m C17 3290 10.00

7月26 C17 → Sele La - C18. 3150

Picea → Abies と変化

Tsuga少しあり。

、Betula なし。

Rhododendron すばらしい、

La の前 2段の大東の Rhod.

の 灌木林 存り

花色. 白.紅.赤 あり と

R. barbatum もあり

Sele La を越してから 殆

んど下らない。Leech あり

7月26日

Sele La の高度
地図 12600 fts
Altimeter. 3290 m
差 13500 m

本日採集は（Bhutan入口以来）莫大なり

紫の Meconopsis
花色は napaulensis
形は paniculata 的!

C18
3150m

7月27日、C18滞在

Amo chu の方向へ下って

採集

Quercus 出現 2850m

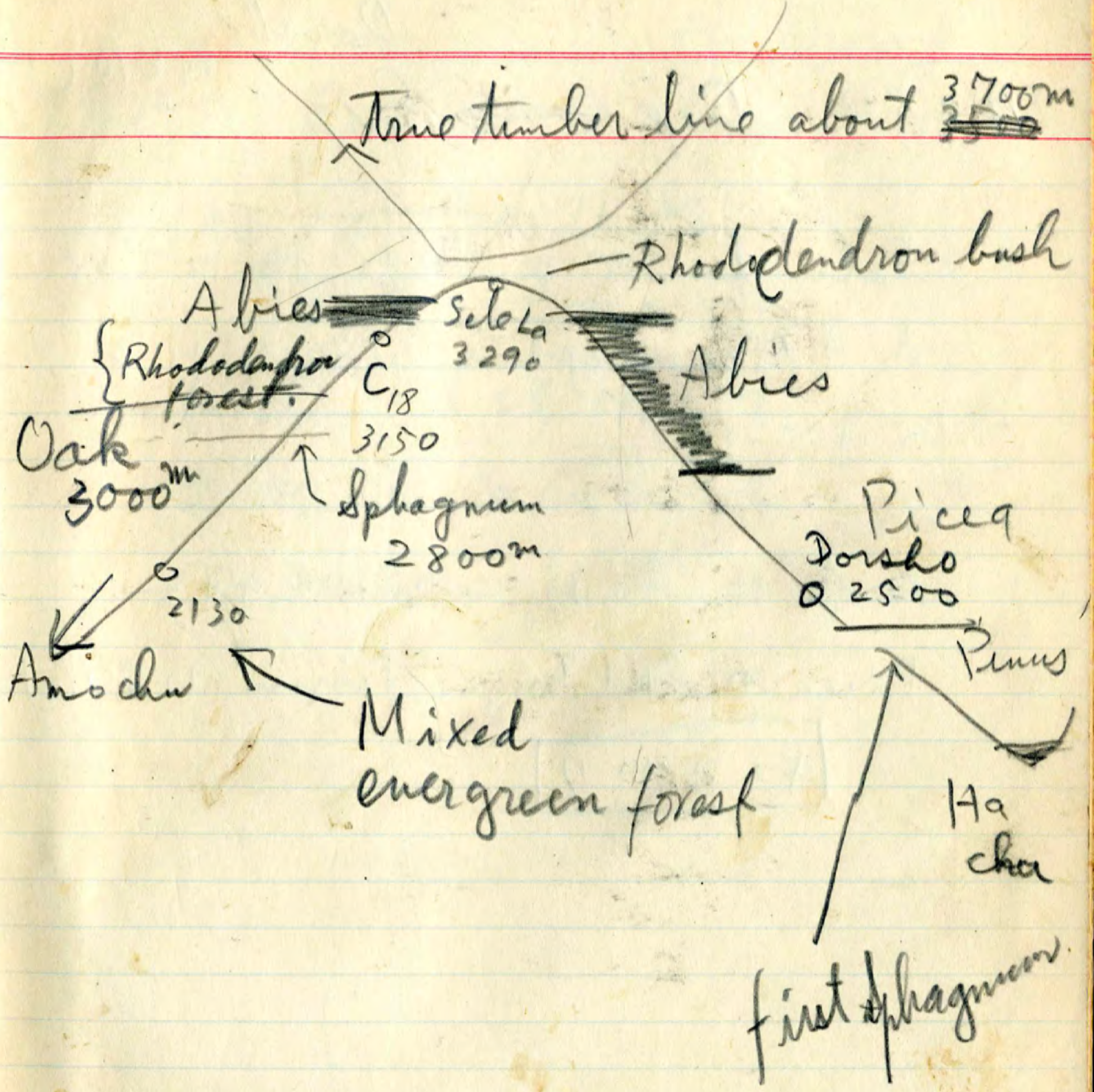
最低点 2130m

Mixed forest にて

Dichloa conspicous.

epiphyte. Cologyne が

多数出現.



Betula
very rare.

Dorsho

7月28日 C_{18} ⟶ C_{19} (前と同じ所)

Sele La では雨が降っている

赤の Meconopsis に引かれて

つけ゛る

昼食は移線上のバスケヤー.

Picea の森 (Tsuga, Pinus 少し混じて)

キノコがり

Doisho → Ha Dzong

7月29日 C_{19} ⟶ C_{20}

7時 ⟶ 11時

天気がよかった。

Ha chu は増水して、

道が水浸になったところ

がある。

7月30日 C20 Ha Dzong 滞在

午后 Dr. Pemba と

上流へ散歩

Rifle の試付 2発

7月31日 C_{20}. Ha Dzong 滞在.

shooting

6名 or sahib

7.30 am ⟶ 12.20 pm

ジャコウジカ ♀ 4頭

beater は主に soldier

8月1日. $C_{20} \longrightarrow C_{21}$
2700m 3850m

Shukuna mountains

乗馬. 6時半出発

Nange が Kumar Sahib に
盗みのを罰せられ、送還さる.
稜線で下馬. 東へ約1時間
進み. キャンプ.

シャクナゲの薪
2人の女が運ぶ

8月2日 C_{21} 滞在

午前6時出発

blue sheep 2頭

10時に引きあげ

午后、12時前に再出す

blue sheep ♀ 1頭を見て

発射1発。命中せず。

小銃 モーゼル。6.5 mm

午后それから Pemba と

東へまわり、ずぶ濡れ

になって帰る。

8月3日、C_{21}、3850m. Shukuna mountains → Ha Dzong C_{22}
雨がテントを打つ音で夜が明ける。

Ha Dzong へ 2 時頃 つく

Nehr が 9月の末 Bhutan へ
来るそうのこと

8月4日. C_{22} Ha Dzong 滞在

Hennesy の Brandy

8月5日 C_{22} ⟶ C_{23}
Damtang
2900m.

ハラキエラ行

Yongto (ナムゲの家のある村)
Sphagnum が 近ばない
少しある

Damtang Rest House.
快的. parkland.

8月6日 C_{23} → ~~C_{24}~~ Ha La-Kyu La 3750m → C_{24}

Damtang 2900m 6.40 am

Timber line 3500m? 12.00

Sharitham 3000m 3.40pm

峠へ森林は Picea → Abies → Rhododendron (bush)

Alpine ~~[illegible]~~ Abies より Sharitkang は Abies と Picea の中間帯. Rest House.

Kyu La の西の谷は ミゴトな U-字谷あり
末端は Abies 林にかかる。
兵隊の出むかえ。

8月7日 C_{24} → Bhutan-Tibet border

7.30 am

10.30 am

alt. 2500 m

帰着 13.5 pm

3000m

Amo-chu River bed.

2250 m?

8月8日 C_{24} ⟶ C_{25}

Sharithang Damtang

6.40 am. 2.30 pm

Nehruが8月末にBhutanへ来るとの情報

橋のかけかえ、Dzonの色の塗りかえ

8月9日 Damtang C_{25} → Ha Dzong C_{26}

朝から雨。

8月10日

Ha Dzong C_{26}

8月11日 C26 Ha Dzong.

Jigmie Dorji return.

Snowman.

Paroの北股の上流で昨冬出現、

♀. 6ft. 毛多し. 黄褐色.

乳房は非常に大きい

skin rough. nose flat

very long face. long arms

like buffalo

long pubic hair (1ft).

手を上げて進む. よく木の

枝をつかむ.

足をずって前に進む.

夜呼ぶ キャキャ キャキャ.

夜焚火を消した時、木の枝を

投げつけた。火を大きくすると

去った。

8月12日
Lorenz に パスポート を渡す

8月13日 Ha Dzong —Chiky La 3700→ Paro Dzong
C_{26} ~~2210~~ 2700 ~~2700~~ 2210 C_{27}
Dr. Kabo と同行
割合天気がよかった.
Guest House に入った.
Kumar Sahib の家に行かない.

8月14日

C_{27} → Belley La → C_{28}

Ha Dzong 2210 — 3450 — Pimethankha 2550

8月15日

C_{28} → C_{29}

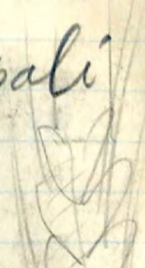
~~Timbu~~ Thimbu

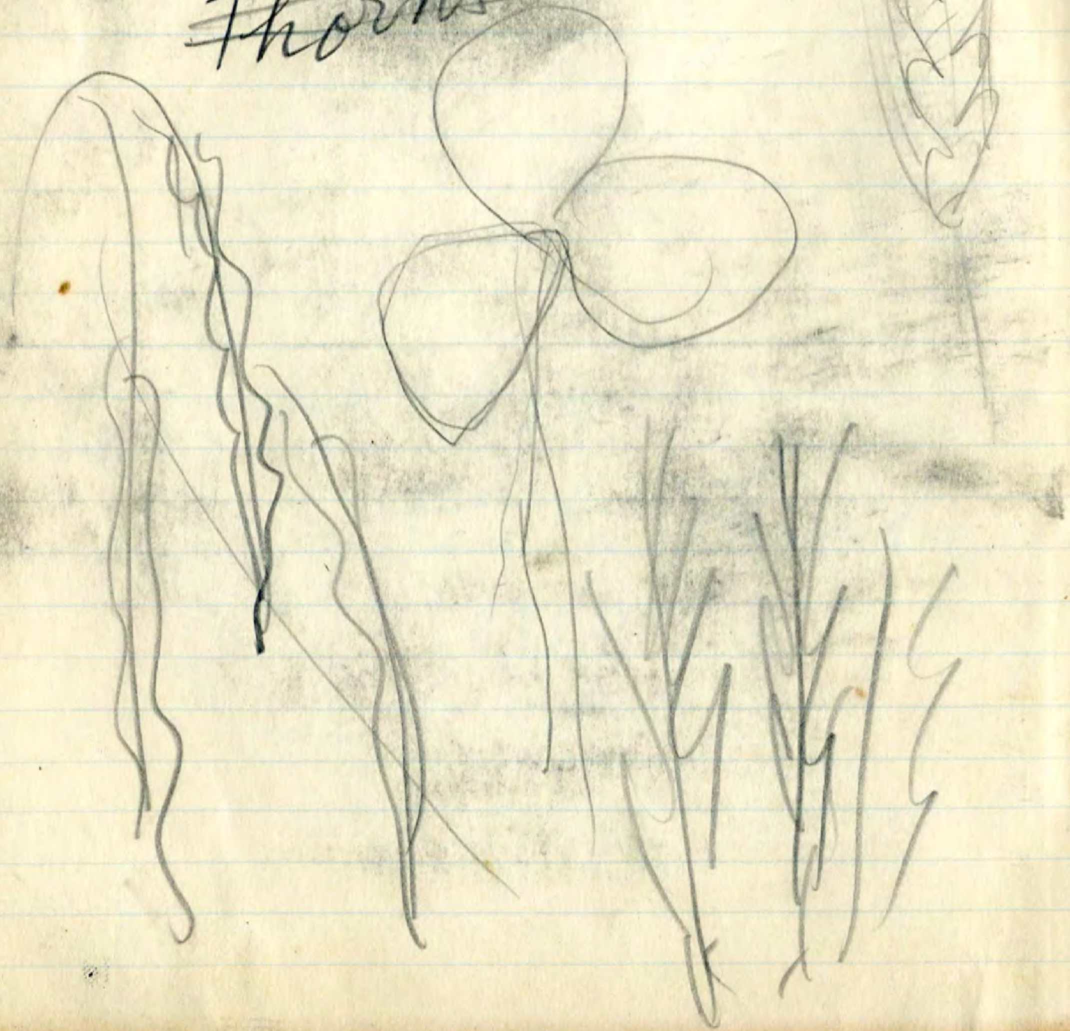
2350

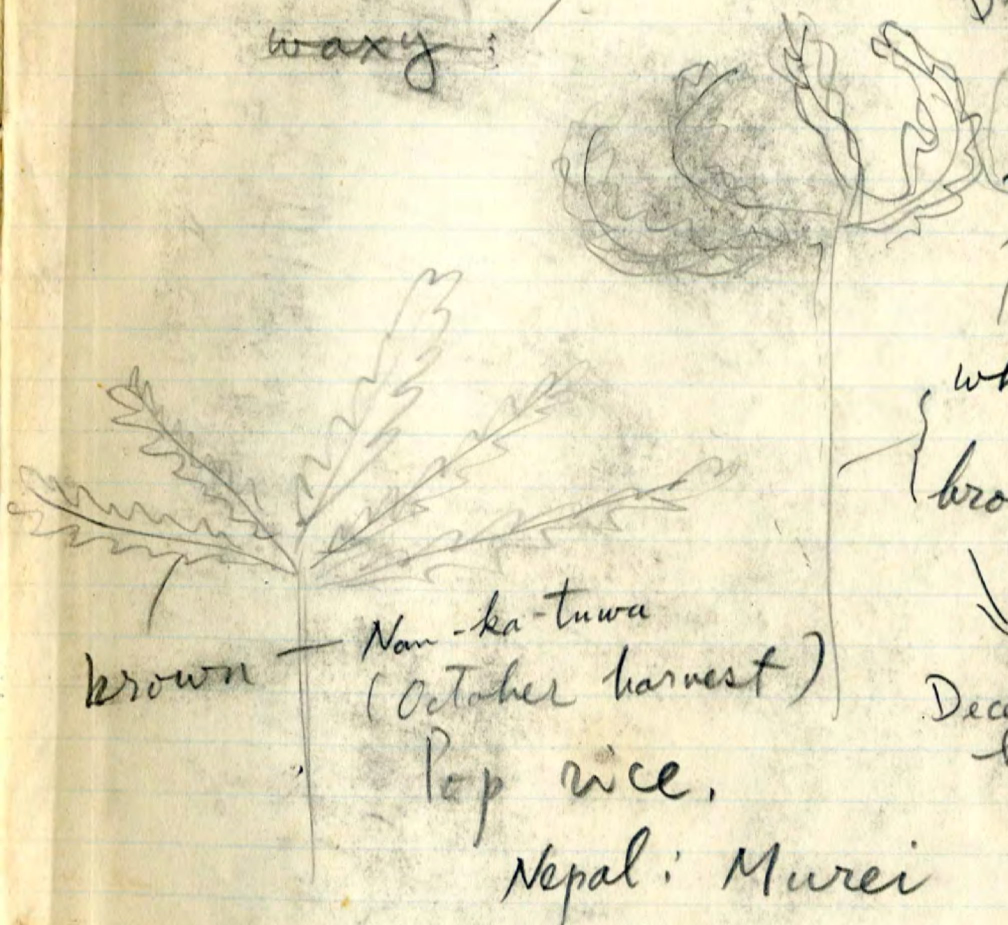
Amaranthus

Lateg; local Nepali

~~Thorns;~~







Pop rice.

Nepal: Murei

~~Hindi:~~

Bengali: Muri